

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 105 号	氏名	中野 綾子
学位審査委員	主 査	畑山 範	
	副 査	藤田 佳平衛	
	副 査	松村 功啓	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、原子効率の点から有用な炭素-炭素結合形成反応の一つとして注目を集めている Baylis-Hillman 反応に関する研究であり、新たな有機不斉触媒の創製、反応の精密化、適用性の拡大を目的としており、その目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 <math>\beta</math>-isocupreidine と hexafluoroisopropyl acrylate を用いる不斉 Baylis-Hillman 反応について、不斉反応場の 3 次元構造に基づき、反応を精密に制御しようとするもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記不斉反応について解析、考察した結果、不斉触媒の有用な活性化法の発見とエナンチオ相補的に機能する新たな不斉触媒の合成に成功した。また、光学活性な <math>\alpha</math>-アミノアルデヒドを基質とする反応を系統的に検討し、<math>\gamma</math>-アミノ酸誘導体のラセミ化を起こすことのない高立体選択的な合成法の開発に初めて成功するとともに、本反応のさらなる精密化に有益な知見を得た。今後、本法の医薬開発研究への活用が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は薬学の有機合成研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			